

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

各学年ともに材料・表現の領域を考慮しながら目標をもって年間の学習を進めることができた。また、一人一人の表現を十分に発揮できる題材を工夫した。

(2) 課題

- ・自分で考えながら表現を工夫したり、見通しをもって取り組んだりすることを苦手とする児童がいる。

【单元内自由進捗学習の取組】

学習形態の工夫（児童の自己選択・自己決定）

- ・題材の初めに学習のゴールを示し、活動の流れが分かるように題材を提示する。
- ・作品作りに関する資料をまとめて提示するなどし、それぞれのペースで学ぶことができる環境を設定する。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・はさみ、のり、セロハンテープなど、図工時間以外でも、既習内容を活かして使用する機会を増やす。	・授業終わりに鑑賞時間を設け、互いの表現の工夫などを振り返り、伝え合うことで自他のよさを見直し、その後の制作に反映させる。	・作品作りに没頭している児童が多い。見通しをもって取り組めるように、声掛けだけでなく、視覚的な支援を行う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分なりのイメージや思いに合わせて、道具や材料を主体的に選択できるような題材設定や声掛けを行う。	・多様な道具や材料、表現方法を経験させたり、振り返りを通じて、自分らしい構想を考えさせたりする。 ・児童同士の作品を鑑賞することを通して自分の発想に生かすようにする。	・多様な道具や材料、表現方法を授業の中で扱うことを通じて制作する意欲を高められるようにする。 ・見通しをもって取り組めるよう毎時間自分なりの目標をもたせるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の表したいことに合わせて前学年までに積み重ねた技能や経験を生かしながら表すことができるよう活動に取り組ませる。	・今までの経験を総合的に生かしたり、振り返りを通じて自分らしい構想を深めるようにする。 ・児童同士の作品や作家の作品を鑑賞することを通してそのよさを実感したり、自分	・制作する楽しさや喜びを一層深められるように今までの経験を生かしながら自分で考えて作る授業を組めるようにする。 ・見通しをもって取り組めるよう毎時間自分なりの目標

	の作品に生かしたりする。	をもたせるようにする。
--	--------------	-------------